

発行：山形県舟形町議会  
平成29年4月28日



ピカピカの1年生、先生と「じゃんけんぽん」で楽しいな



お出迎いの「めがみちゃん」と  
笑顔でパチリ

1月臨時会・3月定例会概要・質疑応答…	2 P
予算審査特別委員会概要・質疑応答……	5 P
町政を問う・一般質問に5議員……	9 P
議会活動・人事案件……	15 P
えがったなあ・町民の声・編集後記……	18 P



工事完了した西ノ前遺跡公園

**町長** 議会軽視と言われれば、その通りであり、たいへん遺憾に思っています。今回は変更工事も完了しており、地方自治法に基づき専決処分等の行政手続きを済ませ、後日専決処分の報告をして承認をいただきたいと思いますので、本案件は取り下げいたします。

また、今後このような事態が起こらないように、職員指導、変更契約にかかる条例整備等を検討したいと思っております。

**議員** 本工事は、議会の議決により行なった工事であるにもかかわらず、工事完了後に請負契約の変更の提案では議会軽視ではないのか。

**縄文の女神記念公園整備工事請負契約の一部変更**

**第1回臨時会**

**質 疑 応 答**

- ▽ **主な事業（28年度補正予算）**
- ▽ 担い手育成総合支援事業……………110万円  
(機構集積協力金)
- ▽ ふるさとづくり応援事業……………1000万円  
(ふるさと便購入費の増)
- ▽ **29年度へ繰越事業**
- ▽ 経済対策臨時福祉給付金事業……………2040万円  
(28年分の住民税非課税の方へ1万5千円支給)
- ▽ 社会資本総合整備事業……………3000万円  
(紫山内山線堆雪幅確保工事)
- ▽ 農業用施設災害復旧事業……………7540万円  
(豪雨災害による復旧工事)
- ▽ 公共土木施設災害復旧事業……………1133万円  
(町道災害復旧工事)

**第2回臨時会**

**縄文の女神記念公園整備工事請負契約の一部変更の専決処分**

**議員** 第一回臨時会の議案取り下げを受け、今後このような事態が起こらないような具体策は。

**町長** 3月までには、地方自治法における専決処分のあり方について議会と検討したい。また、技術職がないという現実を見ながら、経験者の再任用による技術支援センターという体制整備を考えています。

第1回臨時会  
1月18日  
第2回臨時会  
1月27日  
3月定例会  
3月7日～16日

**財政調整基金積立金の増**

**1億250万円**

3月定例会は、7日から16日までの会期で開催し、5人の一般質問に続き、一般会計・特別会計補正予算等、全議案を原案どおり賛成多数により可決しました。

29年度当初予算については、特別委員会を設置し本会議において承認しました。

**主な審議された議案**

- **第1回臨時会**
- 女神記念公園請負契約の一部変更
- **第2回臨時会**
- 女神記念公園請負契約の一部変更の専決処分
- **3月定例会**
- 28年度一般会計、特別会計補正予算
- 29年度一般会計、特別会計当初予算
- 課設置条例の設定
- 水道事業の設置に関する条例の設定
- 条例等の一部改正
- 教育振興修学資金貸付基金条例の一部改正
- 教育委員会教育長の任命
- 農業委員会委員の任命
- 固定資産評価審査委員会委員の選任
- 人権擁護委員の推薦

**3月定例会**

**平成28年度一般会計補正予算**

**議員** 震災復興特別交付税過年度分返還金の内容は。

**総務課長** 平成23年の震災時に、若あゆ温泉テニスコートの亀裂と法面崩落箇所の工事申請をする際に、法面部分について重複した申請をしていたため、今回、重複分の特別交付税を返還するものです。



震災直後の若あゆ温泉テニスコート

**議員** 空き家解体事業補助金の150万円減額の内容は。

**地域整備課長** 今年度の予算200万円に対する実績はなく、年度末まで1件分の50万円を見込み、減額しました。

**農業集落排水特別会計補正予算**

**議員** 農業集落排水事業の一連の新聞報道を受け、早急に町民に対して町として対策を講ずる必要があると思うが。

**町長** 警察の依頼により情報を開示できない状況ではあるが、現時点での報告を文書で3月10日に全戸配布するともに、関係者からの聞き取りを行い、後日町民に報告します。

# 予算総額75億1221万円 原案どおり承認



齋藤好彦 委員長

平成29年度の予算審査は、3月9日より13日まで、議長を除く議員全員による予算審査特別委員会を設置し、委員長に齋藤好彦・議会広報常任委員長、副委員長に叶内富夫・議会運営委員長を選任し、一般会計および特別会計を審査しました。

なお、機構改革に伴う新体制のもと、町民の福祉向上のため効果的な予算執行に努め、事業管理・監督体制の強化を図り、適正な予算執行に努めることを加えて、議長に報告しました。

- 一般会計 **48億6800万円 (前年比：3.2%増)**
- 特別会計 **26億4421万円 (前年比：8.9%増)**

## 主な事業

(新規事業)

- 若あゆ温泉等管理事業 (若あゆ温泉大規模改修工事) 1億1782万円
- 観光物産センター管理事業 (情報発信と観光PRを強化) 698万円
- 保育所設置事業 (保育所業務を社会福祉協議会に委託) 1億783万円
- 除雪機械格納庫整備事業 (除雪センターを移転) 2億760万円
- 中央公民館耐震補強事業 (耐震補強工事) 8150万円

(継続事業)

- 公共土木施設災害復旧事業 (豪雨災害による復旧事業) 5500万円
- 高度浄水施設整備事業 (膜ろ過施設整備) 3億1300万円
- ふるさとづくり応援事業 (ふるさと納税) 6億円



新設された技術支援センター

**議員** 汚泥処分委託料が減額補正されているが、その原因は、なぜこの時期なのか。

**地域整備課長** 28年度未見通しの中で汚泥が25mほど減ることが確実になり、処分代、運搬代をこのたび減額しました。

**課設置条例の設定**

**議員** 地域整備課内に新設された、技術支援センターの業務内容は、

**地域整備課長** 建築・土木工事について、経験を有する職員を配置し、地域整備課以外の課で行う工事等にも、業務のサポートを行います。

**議員** このたびの機構改革により、職員の仕事は改善されるのか。

**町長** 業務の見直しを行い、平準化は図られると考えています。今後の職員採用についても、採用計画を作成し、進めていきたいと思えます。

**水道事業の設置に関する条例の設定**

**議員** 第1簡易水道事業と第2簡易水道事業から、会計上、水道事業に改められたことにより、将来的に管の接続も行い、相互融通を行う計画はあるのか。

**地域整備課長** 管の接続により相互の水道を融通することは可能ですが、現在のところ計画はありません。

**特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部改正**

**議員** 町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業に該当する施設は、

**税務福祉課長** 町で該当するのは、ほほえみ保育園で、今回の改正は利用者負担の変更となります。

**教育振興修学資金貸付基金条例の一部改正**

**議員** 看護師等の修学資金の返還免除規定の中で、県職員に採用された場合は、返還免除の対象から除外されるとあるが、なぜか。

**教育次長** 県職員に採用された場合、転勤があり、新庄最上地域で勤務することが確約されないためです。新庄最上地域の医院・病院勤務であれば、免除の対象となります。

**教育振興修学資金貸付基金条例の改正内容**

最上地域の医療を支える看護師等の育成と確保を図ることを目的に、「看護師育成最上地域修学資金制度に関する協定書」が締結されたことを受け、町の修学資金貸付基金条例も改正されました。

①貸付金額  
月額 3万円以内 → 5万円以内

②返還免除要件  
看護師等養成機関を卒業後10年間の内5年間、最上地域に居住し、最上地域の医療機関等に就業したとき(10年間の返済猶予あり)。ただし、山形県職員に採用された場合については、返還免除の対象から除外する。

# 質 疑 応 答

## 一般会計

### 歳入

**議員** 衛生費負担金934万円の内容は。

**まちづくり課長** 斎場の火葬炉改修工事費が1555万円が計画されており、この工事に係る大蔵村からの負担金です。



老朽化が著しい「うど山農場」

**議員** 地方創生推進交付金260万円の内容と、いつまでの事業なのか。

**まちづくり課長** 県と連携して、平成32年までの4年間で、官民協働・地域間連携による住民主体の地域づくりを、旧小学校区単位で推進していく事業です。

**議員** 農業委員会交付金100万円、農地利用最適化交付金101万円と、業務の内容は。

**産業振興課長** 農業委員会交付金は委員会の運営費で、農地利用最適化交付金は、最適化推進委員4名が増えたため、6千円×14人×12ヶ月分の報酬です。業務については、推進委員は各地区で活動し相談役となり、農業委員と共に農地の最適化の推進を行います。

**議員** 宅地売却収入は470万円を見込んでいるが、どの場所か。

**総務課長** 内山区が3区画残っているうちの1区画分120万円と、ひだまりタウンで残っている1区画分350万円です。

**議員** 町債の伸び率が78.4%と大きいですが、健全な財政運営は続いていくのか。

**総務課長** 除雪センター移転、温泉の改修工事などの大規模事業により町債が伸びます。過疎債(元利償還金の7割が戻る)で対応し、健全な財政運営に努めます。

**議員** タクシー券は1回につき1枚しか使用できないため、使い勝手が悪いと聞くと、複数枚使用できるようにできないか。

**税務福祉課長** 初乗り料金の助成として行なっている事業です。29年度も今まで通りと考えています。

**議員** 地域おこし協力隊は28年度末で23名辞めると思うが、募集状況は。また、集落支援員は現在3名配置されているが、役場0日である。地域づくりには行動力がある方がよいのでは。人選について検討しないのか。

**まちづくり課長** 地域おこし協力隊は2名募集しています。1名は内定済で、小国川漁協で水産業振興業務に従事する予定です。もう1名は園芸農業に従事する方を、継続して募集しています。

**集落支援員は、** 役場退職者でもありこれまで培ってきた町民との関わりもあるので、アイデア等も含めて、地域と行政のつなぎ役として29年度も同様にお願する予定です。

**議員** 空き家対策で1件に50万円の解体補助金があっても利用する人がいない。倒壊寸前の物件もあり、緊急性のあるものは、町内会と話し合って進めるべきではないか。

**地域整備課長** 他の対応事例を参考に検討していきたい。しかし所有者の許可がないと手が付けられないので、足踏み状態になっているのが現状です。



長沢地区から県立新庄病院までの運行が期待される乗合いタクシー

### 歳出

**議員** 乗合いタクシーは長沢地区に拡充されるのか。

**まちづくり課長** 検討はしていますが、29年度は予算化していません。実施する方向で、関連する事業を精査し、総体的に検討を進めていきます。

**議員** 庁舎内の給排水工事、中央公民館の改修工事期間におけるトイレ使用について、町民への配慮は考えているのか。

**総務課長** トイレ等にかかわる工事については、土日を中心に、利用者へ支障をきたさないような工程を組んでいきたいと思えます。



社会福祉協議会の事務所としても活用される「老人いこいの家」

**議員** 老人いこいの家の活用を今後どのようにしていく計画なのか。

**税務福祉課長** 健康増進活動の利用のほかに、社会福祉協議会の事務所として活用していきます。

**議員** 健康ポイントが付与されるのは、どのような事業か。ポイントの対象となるもの、ならないものの区別がわからない。

**税務福祉課長** 初年度ということもあり、周知が足りなかったと思います。わかりやすく、様々な場面で周知していきたいと思えます。



地域づくり研修会での発表 (富長連合町内会)

**まちづくり課長** 4年計画であり、最終的には地域カルテとして整理し、地域運営組織をどう形成するかが課題であります。地域づくりの単位については今後も検討し、まずは住民の課題や問題を共有できるような環境を作り、今後の施策に結びつけていきたいと考えています。

**議員** 総合戦略推進事業について、これまで地域づくりは町内会単位で進めてきた。学区単位で進めていくには温度差があり、どれだけ人が集まるかが疑問である。むしろ町内会単位で進めて、その後、学区単位にすべきではないか。

**まちづくり課長** 今は接続されていません。検討はしましたが、道路の高さがあり、経費がかかるため、そのままと考えています。衛生面では、再度、点検管理を行なっていく予定です。

**議員** 生涯学習センターの合併浄化槽は農業集落排水に接続されていないのか。衛生的にも良くないし、接続すべきではないのか。

# 町政を問う

## 一般質問に5人が登壇

### 一般質問とは

定例会において、各議員が住民の代表として行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する議員の重要な活動です。

### 奥山 謙三 議員

10ページ

- 1 一貫教育に於ける体力向上方策を問う
- 2 公共施設に公衆無線LANの設置を進めよ

### 石山 和春 議員

13ページ

- 1 農林水産物処理加工施設の経営は

### 斎藤 好彦 議員

11ページ

- 1 具体的な雇用創出プランは
- 2 防災士の計画的な養成を
- 3 AEDの夜間・休日使用は万全か

### 小国 浩文 議員

14ページ

- 1 自動車運転免許証を自主返納した高齢者への支援について

### 伊藤 欽一 議員

12ページ

- 1 小型ロータリ除雪車の増車について
- 2 臨時職員の賞与支給について問う

※ 紙面の都合により、質問は1人2問までの内容を要約して掲載しています。会議録の詳細は、町ホームページに掲載しますのでご覧ください。



移転される除雪機格納庫

**議員** 農地整備計画の中で、長沢地区と堀内地区の基盤整備が進んでいないが、今後の対応は。

**地域整備課長** 長沢地区に関しては、数年前に地元で説明会を開催しましたが、なかなか良い回答が得られませんでした。堀内地区については、まだ説明会を開催していない状況です。

**議員** 除雪機械格納庫の建設予定地は。また、分散して配置する予定はないのか。

**町長** 候補地として、旧光生園跡地を考えています。分散については、経費の面も考慮して検討します。

**議員** 若あゆ温泉の大規模改修の工事は時期は。

**産業振興課長** 今年度後半を予定しています。

**議員** 住宅管理費の町営住宅3号棟5700万円の工事内容は。

**地域整備課長** ①耐久性向上として屋根・外壁及び給水管・排水管工事②居住性向上としてサッシ工事③福祉対応として階段・手すり設置④安全確保の面から玄関扉の改修等です。

**議員** 県自主防災組織充実強化支援事業補助金の対象は。

**危機管理室長** 自主防災組織を設置した町内会で、訓練を実施した場合に、県と町からそれぞれ2万5千円、合計5万円の補助金が交付されます。各組織で初めての申請時のみが補助対象で、使途は訓練のための資材調達等です。

**議員** B&G海洋センターのトイレを洋式にする予定はあるのか。

**教育次長** 当初予算に計上されていませんが、今後部分改修を含めて計画的に整備します。

## 介護保険特別会計

**議員** 介護認定の主治医意見書作成手数料は何件の予算なのか。

**税務福祉課長** 27年度の実績で439件あり、29年度は400件ほどの予定で計上しています。

**議員** 成年被後見制度利用支援事業扶助費の内容と、受取人は誰になるのか。

**税務福祉課長** 高齢化が進み、後見を受けなければならぬ方が出てくることを想定し、予算化しました。扶助費は後見人となった方に支給します。

## 公共下水道特別会計

**議員** 汚泥処分委託料が昨年より35万円ほど増額しているが、根拠は何か。

**地域整備課長** これまでの実績と、今後接続される家屋も含め検討し、処分料を計上しています。なお、当町の公共下水道・農業集落排水の接続率は、3月現在で85・9%です。



奥山 謙三 議員

# 一貫教育に於ける体力向上方策を問う

## 運動の質や量、正しい食育の検討も必要

**【質問】** 平成28年度「舟形町の教育」の冊子の中で、「健康でたくましい心身を育てる教育の充実」として、体力の向上、心の健康などが記載されています。今回の質問は体力向上に視点を当てて行います。その実現のための、取り組み内容として

● 体育・スポーツ活動の充実  
● 食に関する指導の充実  
これからの一貫教育を通じた生徒個々の体力向上方策と、トップアスリート育成のために、町・学校・保護者・子どもが一体となった取り組みも必要と思いますが、町長の考えをお聞きします。

走力向上や基礎体力向上を目的とした、スポーツ指導員の配置  
2. 「食」からのアプローチとして、「日本一の給食食育事業」  
また、継続事業として、外部コーチの招へいやスポーツと栄養、スポーツ医・科学の面で先見の活見地を有する指導者の活用なども検討しています。トップアスリートの育成に関しては、山形スポーツセンター発掘事業や中学校部活で成績優秀者を対象に組織される県選抜チームへの選手輩出、また、平成29年度は最上地区体育協会が主催して行われるトップアスリート招へい事業に後援という形で事業参画する予定です。



舟形小・大蔵小陸上競技大会（平成28年6月開催）

**【町長】** 保小中一貫教育では、走力を中心とした体力向上の取り組みを検討しています。今後体力向上を考える上で、運動の質と量や、正しい食生活を習慣づけする食育の検討も必要と考えます。  
平成29年度は次の2つの新規事業を計画しています。  
1. 保小中の児童生徒の

始め6名の幹部の方々から資格を取得していただいているところで、現在町内では10名の方々が資格を取得しています。  
町としては、今後とも公募と消防団員特例を活用し、防災士を養成していきたいと考えています。

**【質問】** 公共施設や観光施設に設置することにより、町民をはじめ町内を訪れる観光客などに情報を発信し、交流人口の増加にもつながると思いますが、町長の考えをお聞きします。  
**【町長】** 当町における公共施設への無料Wi-Fi

公共施設や観光施設に設置することにより、町民をはじめ町内を訪れる観光客などに情報を発信し、交流人口の増加にもつながると思いますが、町長の考えをお聞きします。  
そのほかの公共施設についても、今後整備検討を進め、町の交流人口の拡大を図り、地域の活性化につなげていきたいと考えています。



観光物産センター「めがみ」でFree Wi-Fiが使えるようになりました。



齋藤 好彦 議員

# 防災士の計画的な養成を

## 公募と消防団特例で養成を図る



災害時のリーダーとして活動する防災士

**【質問】** 災害時は消防、警察、行政等の公助が遅れがちとなるため、到着までの間、住民の生命や財産の被害を最小限に抑制できるよう、自助と共助で近隣の助け合いと、減災活動を行うことが優先であり、各地域での防災士の役割が重要視されています。本町としての防災士の必要性と養成計画

について、町長の考えを伺います。  
**【町長】** 町では、初年度の27年度に危機管理室長1名、28年度からは公募を行い、公募に応じた2名と危機管理係1名が資格を取得しております。また、消防団員特例による防災士の資格取得により、今年度、団長、副団長を

始め6名の幹部の方々から資格を取得していただいているところで、現在町内では10名の方々が資格を取得しています。  
町としては、今後とも公募と消防団員特例を活用し、防災士を養成していきたいと考えています。



屋外に設置されているAED（町外）

**【質問】** 本町のAEDのほとんどが施設内にあり、施設の閉館時は使用が出来ない現状にあります。AEDの使用は緊急性が第一で、時間の制約もありますが、不意の事故や急病などで、目の前で苦しんでいる方の生命を最優先すべきであり、施設外への設置など検討すべきと考えます。町長の考えを伺います。  
**【町長】** 現在、町の公共施設へのAEDの設置は、持ち運び分を含めると19台で、今年度6台増設し

ています。この内、朝8時30分から施設の閉館時間である21時までの間や休日を含め、AEDが利用できる施設は、若あゆ温泉やB&G海洋センターなど7施設あり、各種大会などに持ち運ぶためのAED1台も配備しています。ただし、21時以降の夜間や休日には利用できないAEDはありません。  
町では、最上広域消防南支署、光生園、えんじゅ荘、ほなみに配備されている機器の夜間対応について、協力をお願いしています。今後は、舟形徳洲苑やコンビニなどへの設置を検討します。  
また、対策としてAEDを公共施設の壁等に設置し、24時間使用可能にすることが考えられますが、温度管理ができる設備を設けて整備する必要があります。今のところ屋外設置は難しいのではないかと考えています。



伊藤 欽一 議員

# 小型ロータリ除雪車の増車について

## 増車を含めた改善を考える

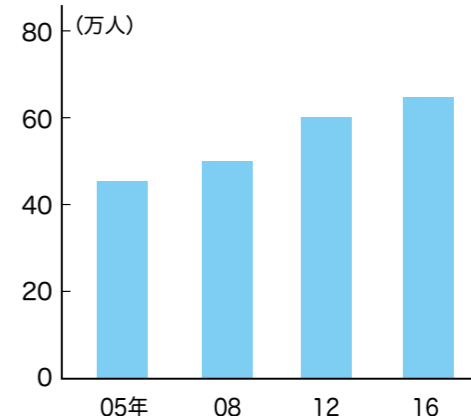
**質問** 生活道路除雪路線の整備の補助率を工事費の50%から90%に引き上げた結果、今シーズン新たに6路線が小型ロータリ除雪工区に追加され実施されました。除雪箇所は、長沢地区の長尾町内から堀内地区の松橋町内まで、移動距離を測定

したところ約25kmありました。今後、生活道路除雪路線が増えることが予想されることから、オペレーターの負担軽減や事故防止等安全対策を考えた場合、増車し対処すべきと思いますが、町長の考えを伺います。

ロータリ除雪車の増車を含め、内閣府に地域再生計画認定と地方創生推進交付金に申請しましたが、残念ながら不採択の結果となっています。今後補助等の対策を考えながら、除雪車の増車やオペレーターの育成及び確保を含め、総合的に判断し改善していきま

### 地方自治体の非正規公務員は増えている

総務省の資料から



生活道路として整備され除雪された新路線(西又地区)

**町長** 今年度は、生活道路6箇所を新たに追加し、小型ロータリ除雪車1台で、長尾町内から松橋町内まで16路線の除雪を行なっています。広範囲での除雪車移動となり、オペレーターの方には体力的、精神的にたいへんご苦労をおかけしていると感じています。

**質問** 昨年12月23日まで総務省は、これまで期末手当の支給対象外とされてきた地方自治体の非常勤職員に対し、法改正などで支給を可能にする方針を固め、本年1月20日

召集の第193回通常国会に法案を提出しています。町でも条例を整備し、賞与を支給できるようにする考えはないか、町長に伺います。

**町長** 県内市町村には、県を通じて1月27日開催の地方財政対策等説明会で示されています。町の臨時職員は、特別職非常勤職員や一般非常勤職員



石山 和春 議員

# 農林水産物処理加工施設の経営はコスト削減をはかり販路拡大に取り組む



売上順調なスイーツ

**質問** 本施設は、舟形町振興公社が運営し、産業振興と地域が活性化するまちづくりを目指し、平成26年11月にオープンしました。

雇用を増やし、活気を取り戻して欲しいという思いでいっぱいですが、実態をみるとなかなか経営としては厳しいものがあるように思います。

**町長** これまでの加工施設への補助金は、平成26年度は300万円、平成27年度は720万円、平成28年度は500万円となっています。



新商品開発に取り組み中

**町長** これまでの加工施設への補助金は、平成26年度は300万円、平成27年度は720万円、平成28年度は500万円となっています。平成28年度の売上目標と平成29年1月までの販売実績は、売上目標は1700万円、販売実績は854万3千円、3月末までの年間販売額は、スイーツ等の売上が順調で1100万円を見込んでおり、前年に比べて223万円増加の見込みです。しかしながら、町加工施設の運営状況を見ると人件費や仕入れに要する経費が大きく、来年度も補助金を見込んで運営を行わなければならない状況となっています。

このため、平成29年度は、464万8千円を加工施設運営補助金として予算要求を行なっているところです。

損益分岐点については、運営経費は人件費や光熱水費、委託料、リース料等の固定費と、主に食材の仕入れなどの変動費となっています。金額については、平成27年度決算額と同程度の販売額がないと、収益を得られないと分析しているところです。



小国 浩文 議員

# 自動車運転免許証を自主返納した高齢者への支援について

## 町にあったサービスを検討する

**質問** 近年、全国的に交通事故が減少傾向にある中、高齢者の自動車運転による交通事故の発生割合が増えています。特に、高齢者が起こす交通事故は、死亡につながる重大なものとなって

おり、予防対策が社会的な課題となっています。そのような中、県警では、高齢者の重大な交通事故発生防止対策として、自動車運転免許証の自主返納の呼びかけを行なっています。

ではないかと思えます。今後、高齢化が進む中、高齢者の交通事故防止と生活を守るための手立てが求められます。町内の高齢者が自動車運転免許証を自主返納した場合の支援について、町長の考えを伺います。

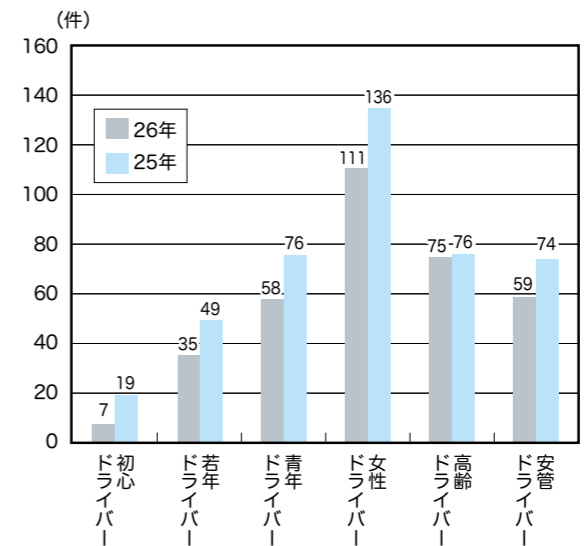


春の交通安全運動

この呼びかけに対して、自らの判断や家族との話し合いによる高齢者からの自動車運転免許証の自主返納件数は、県警で過去最多を更新しています。しかし、公共交通機関の無い地域や高齢世帯においては、日々の生活への影響を懸念して、自動車運転免許証の自主返納をためらう高齢者が多くいるのも現実です。

**町長** 県内の運転免許証の自主返納者に対する支援については、昨年10月現在、山形市を始め16市町、その他タクシー協会や地区交通安全協会等が実施しています。支援の内容は、主にバスやタクシーの無料乗車券、定期券の補助を、65歳以上や70歳以上の自主返納者に、1回若しくは更新手続きの上、継続支援をしているようです。今後ますます、免許所

持者が高齢化を迎えます。取り組みの必要性を認識していますが、個々人の事情や健康状態、個人の意思などによると思いますが、自発的に本人が納得して返納できるような仕組みづくりや、事故等を防ぐための支援などについて、町営バスや乗合い



ドライバー別事故件数 (山形県警資料より)

### 総務振興常任委員会

1 日 時 平成29年2月24日(金)

2 調査内容 (状況説明、現地視察)

(1) 豪雪による被害状況について

①被害状況

ア. 1月11日から16日までの大雪により、1月16日に「舟形町豪雪対策本部」を設置した。(全戸チラシ配布、防災無線により注意喚起を行なっている。)

イ. 2月23日現在では、前年同期とほぼ同じ積雪深となっている。

ウ. 2件の人的被害と2件の住宅、4件の車庫等の建物被害が発生した。

エ. 農林水産関係では、ハウス内で栽培している小松菜の被害のほか、ハウスの全半壊被害が18棟で、被害額は1900万円となっている。

オ. 2月6日から16日まで3か所の雪崩発生が確認されたが、短時間で開通した。

カ. 1月16日に紫山地区の一部で停電が発生したが、1時間半程度で復旧した。



サケの飼育状況を視察

③所感

ア. 短期間に大量の降雪で、農業施設等の被害が多く発生したことから、日頃からの注意喚起の重要性を感じた。

イ. 小松地区の人的被害は公共施設作業中の事故で、町としての対応を考慮すべきであり、今後の課題として対応策の検討が必要である。

ウ. 農業施設への補助などの対応は、個々の管理上の問題もあり難しいと思われるが、農業施設の更新時の支援策として検討する余地はないか。

(2) サケふ化場運用状況について

①運用状況

ア. 11月上旬からの採卵作業、ふ化、飼育と施設運用も順調に推移していた。

イ. 約1グラムまで成長しており、計画の50万匹を超える稚魚が育成されていた。

ウ. 県内水面漁協からの放流許可もあり、3月8日にほほえみ保育園による放流事業が予定されている。

②所感

ア. 保育園児の放流事業など、町一体となって取り組む事業体制を評価したい。

イ. 漁協担当者からの育成内容・作業工程の説明が明瞭で、好感が持てた。

ウ. サケ稚魚放流後の、アユ育成施設としての有効利用に期待をしたい。

エ. 町おこしに、サケの利活用について検討をすべきと感じた。

### 文教民生常任委員会

1 日 時 平成29年2月23日(木)

2 調査内容 (状況説明)

(1) ほほえみ保育園の業務委託について

①所感

ア. ほほえみ保育園の業務委託に至った要因は、臨時職員が9割を占める現状を解決することが大きな理由となっている。今回、13名が社会福祉協議会の正規職員として採用されたことにより、改善されることを期待する。

イ. 町・利用者・社会福祉協議会が協力、連携を図り、園児の健やかな成長と、保・小・中一貫教育については所期の目的を果たせるよう進めていただきたい。

ウ. 女性の社会参画が期待されている中で、未満児保育のニーズが高まっているので、今以上に充実されるよう期待する。



タブレット端末を活用した高齢者の見守りシステムの視察 (1月23日秋田県湯沢市)





高橋 忠昭氏  
富田第2  
(60歳)

任期は  
平成29年4月15日より  
平成32年4月14日まで

固定資産評価審査委員会委員の  
選任に同意



伊藤 美喜子氏  
内山  
(64歳)

任期は  
平成29年7月1日より  
平成32年6月30日まで

氏名	町内	年齢
星川 俊則	舟形第3	62歳
奥山 恵司	福寿野	63歳
進藤 節子	富田第2	59歳
大場 勝廣	内山	61歳
高橋 毅	紫山	62歳
加藤 嘉久	堀内	57歳
叶内 栄一	長者原	52歳
伊藤 源士	野	60歳
叶内 公直	長沢第2	43歳
吉田 明美	舟形第3	60歳

農業委員会委員の任命に同意

「農業委員会等に関する法律」の改正に伴い、これまでの公選制が廃止され、農業委員は町長が議会の同意を得て任命することとなりました。



齊藤 渉氏  
内山  
(65歳)

任期は  
平成29年4月1日より  
平成32年3月31日まで

教育委員会教育長の任命に同意

人権擁護委員の推薦に同意  
人権擁護委員法に基づき、山形地方事務局からの候補者の推薦依頼により提案され、同意したものです。

- 議会運営委員会
- 1 日 時 平成29年1月31日(火)  
2月1日(水)
- 2 調査内容 (視察研修)
- (1) ペーパーレス議会システムにかかるセミナー参加
  - (2) タブレット導入議会視察(秋田県五城目町)
  - (3) 「ペーパーレス議会システム」の導入状況・今後の計画及び課題
  - (4) 五城目町元気な地域づくり支援事業について
- (3) 所感
- ① 導入に向けて、研修会を重ね、活用・運用

議会運営委員会

② 教育委員会事務事業報告の点検について

① 所感

一貫教育について、毎年点検が実施されており改善されていることがうかがえた。以下の意見を添えて報告する。

ア. 中学校移転改修について、小学校との近接型一貫指導体制構築については早期に結論を出し、用地確保を進める必要性があると感じた。

イ. いじめについては起こりうることを前提に、早期の把握と対応が大切だと考える。今後連絡会議を開催し、必要な連携と対策を行なっていただきたい。

ウ. わかあゆ塾の開催は、子ども達の学力向上につながるものと確信するので、充実強化を図っていただきたい。

エ. 生涯学習関係では、一般向け講座、高齢者向け、子どもたちも対象にした町民全員が参加できる講座の開催も必要と考える。



ペーパーレス議会システムセミナー (仙台市)

用・費用などを検討していく必要性があり、検討委員会を立ち上げて進めるべきであると感じた。

② 元気な地域づくり支援事業については、当町においても同様の事業は展開されており、なお引き続き、町内会の活性化に向けて、町の協力・支援が必要であると感じた。

議会活性化特別委員会

1. 調査事件
- 議会運営が舟形町議会基本条例に則して行われているかを検証し、更なる議会の活性化を推進していくために、議会改革についての課題を調査検討。
2. 委員会設置期間
- 平成28年6月10日～平成29年4月30日

表紙のことば

4月8日に舟形小学校で、男子20名、女子12名、計32名の入学式が行われました。保育園を卒園してから16日しか経っていないのに、見違えるような立派な一年生の式でした。教室では、先生と「じゃんけんぽん」。楽しい雰囲気の中、子供たちの真剣でキラキラ輝く瞳は、舟形町の未来を映しているようです。将来は若鮎のごとく、町に帰郷し活躍してくれることを心から願っています。

開かれた議会を目指して

議会報告会(4月4日～5日)

このたび、舟形町議会では第8回となる議会報告会を4町内会(幅・一の関・長者原・実栗屋)で開催しました。

議会報告会の目的は、議会活動などの報告と町政に関する情報提供を行い、議会活動に対する意見などを直接お聴きして、議会の活性化に努め、住民の皆さんに信頼されるまちづくりを実現しようとするものです。

参加いただきました町民の皆さま、貴重なご意見ありがとうございました。詳しい内容は、議会だより7月号で報告します。



次回の定例会は

6月6日(火)  
～8日(木)

までの予定です。

どなたでも議会を傍聴することができます。皆さまの傍聴をお待ちしております。

西堀に嫁いで来た、お嫁さんをご紹介します。

## シリーズ



今回は、長者原から西堀の阿部英資さんに嫁いで来た友子(旧姓小國)さんです。  
皆さんよろしくお願ひします。

◆どんなきっかけで彼(ご主人)と知り合いましたか？  
以前、保険の仕事をしていた時に舟形駅で声をかけたのがきっかけです。

◆嫁いでからの生活はどうですか？

子どもが生まれ、検診などで自分の同級生と一緒にになり、子どもたちが同級生になるなど、とても楽しく過ごしています。また、実家も車で5分程の所にあり、様々な面で助けてもらっています。自分の育った所で子育てできるのが、とてもうれしいです。

◆舟形町の良いところ・悪いところはありますか？

高校卒業まで医療費が無料であることなど、様々な支援があり、安心して子育てができる町だと思います。

普段買い物できるスーパーがなく、車で出かけるしかないことと、冬に雪を捨てる所がないことが不便です。

◆舟形町に望むことはありますか？

冬の間や天気の良い時に、小さな子どもたちが遊べる場所を作ってほしいです。

### 声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

皆さんは「Yumbuj」プロジェクトをご存じでしょうか？

このプロジェクトは、畑にセンサーを設置し畑の状態をデータとして可視化し、さらに蓄積したデータで人から人へ伝わるその土地に対応する知恵を、『データ』として栽培技術向上や新規就農者への支援に活用していく「Yumbujファーム」と、同じ地域の農家と需要者を直接つなげるネット販売プラットフォーム「Yumbujストア」の二つの事業を合わせて行なっており、ICTで農業を活用するプロジェクトで、私も参加しています。

このプロジェクトが発足したきっかけは、一昨年の10月に最上町が主催した「IoT×農業」をテーマにした異業種間交流会でした。この会では、様々な意見が活発に交わされ、このプロジェクトに結びつきました。私は、このような異業種間交流会を、ぜひ舟形町でも開いてほしいと思っています。異業種の方と交わることで町の産業の活性化や、町全体の発展につながるはずです。議会での検討よろしくお願ひします。



タラノメの収穫作業中

叶内 大夢 さん  
(長者原)

## 編集後記

田んぼの雪もすっかり消え、各家庭の健康カレンダーも取り替えられ、学校、職場、農作業と、一年で一番落ち着かない季節になりました。

4月号は、こんな時期に相応しく明るい表紙から始まる内容満載の議会だよりができました。3月定例会と予算委員会での質疑が120数件もあり、紙面の制約で掲載内容を絞り込むのたいへんに苦労しましたが、各委員の企画・提案により町民の皆様から読んでもらえる紙面づくりに心がけました。

現行の議会広報常任委員会も2年が経過し、新年度からは新体制での委員会になります。今後とも、町民が主体的に参加する広報誌、議会の存在感を示す広報誌づくりを目指してまいりますので、議会だよりへのご意見、ご感想をお寄せください。(斎藤 好彦記)

### 発行責任者

議長 八 鎌 太  
議会広報常任委員会  
委員長 齋 藤 好 彦  
副委員長 奥 山 謙 三  
委員 員 佐 藤 三 勇  
委員 員 石 山 春 文  
委員 員 小 国 浩 文  
委員 員 伊 藤 欽 一